

大田原市議会議長

新年あいさつ



副議長 印南 好男



議長 印南 久雄

新年あけましておめでとうございます。

二〇二一年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられまして、心からお慶び申し上げます。また、日頃より市政発展のため多大なるご支援とご協力をいただき、心から厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、バンクーバー冬季五輪や南アフリカでサッカーW杯が開催され、日本人選手の活躍に日本中が盛り上がりました。深夜のテレビ中継で寝不足になった方も多かったのではないのでしょうか。

また、宮崎県の口蹄疫問題は遠く九州での事件でありましたが、畜産農家が多い県北地区では対岸の火事では済まずことのできない問題でした。

そのような中、昨年は、新たに津久井富雄市長が就任され、掲げたマニフェストを基に、「事業仕分け」や「給食費無料化の実現に向けた取り組み」など、新しい市政運営を実施してきております。

議会は、地方自治体の運営にあたる上で、憲法で定められている二元代表制の一翼を担うことになっており、市長部局とは独立、対等の立場にあります。そ

して、議会の大きな役割としては、市長が提案した施策を最終的に決定する議決機関ということと市が行う事業が適切に実施されているかをチェックするという監視・評価機関ということがあげられます。

このような使命を果たさなければならぬ議会においては、全国的な流れとして、「市民に開かれた議会」ということが求められてきており、議員一人ひとりに掛かる期待が少なくありません。我々議員は、市民から選ばれた議員として、職責の重さを自覚し、活動していかなくてはなりません。また、市民の皆様から、これまで以上に市議会に関心を寄せていただき、二十九人全議員の活動を身近に感じていただきたいと考えております。

今年の十一月には、市議会議員選挙があり、議員定数も三人減の二十六人となります。任期最終年となることから、より一層、市民の皆様とともに「幸せ度の高いまちづくり」の実現に向け、最善を尽す覚悟でございます。

市民の皆様には、尚一層ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年間の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして年頭のご挨拶といたします。